

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号	9	学校名	岐阜商業高等学校(全日制)
------	---	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	各界のリーダーを輩出してきた、商業教育をリードする伝統ある商業高校として 校訓「不撓不屈」のもと、課題探究心と実践的な行動力の育成、高度な知識や技術の修得を通して 地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「商業教育」「部活動」「進路達成」への真摯な取り組みを通じてビジネスリーダーたる資質と素養を育み、予測困難な未来をたくましく生き抜く力を身に付けた生徒の育成を目指す。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育み、清く、優しく、たくましく生きていこうとする心を有する生徒 ビジネスに関する確かな知識・技術を身に付けるとともに、将来、実際の経営活動の場面において、主体的に活用できる能力基盤と素養を有する生徒 地域経済の発展の担い手及び、社会貢献に対する強い意識を育むとともに、次世代のビジネスリーダーになる高い志を有する生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 課題発見力、課題解決力を育成するために、すべての教育活動において、「主体的・対話的で深い学び」の推進と創造性を育成 地域や社会など多様な人々と連携・協働して、実学を実践するとともに、地域を創生する意識の涵養と、自己有用感を高める教育活動を推進 実社会や職業との関わりを通して、高い職業意識や規範意識を育むとともに、共生社会に不可欠なコミュニケーション能力の育成するための教育課程を編成 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を有するとともに、高い志と目的意識をもって学校生活に臨む意欲のある生徒 将来、地域創生のために、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得を目指そうと学習意欲が旺盛である生徒 部活動、生徒会、地域等と連携した探究活動など、仲間とともに積極的に取り組む意欲に溢れるとともに、自らの伸長のために果敢に挑戦しようとする意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 高度な資格取得を目標としていることと併せて、部活動で大会成績の結果が求められる。文武両道の実現に向け、学校としてどのように対応すべきか。 少子化の影響を受けて、商業教育を学ぶ生徒数が減少していく中で、商業教育の魅力をどのように伝えるか。また、これからの商業教育で学ばせるべきスキルや知識は何か。 残業時間が月45時間を超える教職員が多く、働き方改革が思うように進まない現状をどのように打開するか。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	基礎学力の定着と課題の発見・解決のために、主体的、協働的に学習に取り組む生徒を育成する。	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな社会的課題に対応するため、ビジネスマナーを考えさせ、校則の在り方や指導方法を検討し常に改善しながら相手を気遣ったコミュニケーション活動ができ、差別や偏見を排除できる生徒の心を育てる。 交通安全、情報モラル、いじめなどの問題に対し、未然に防ぐための指導を行うとともに、生徒の規範意識の向上を図る。 学校生活により良く適応できるよう組織的な支援を行う。 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な学習習慣を身に付け、進路実現のために必要な知識・技術を習得できるよう支援する。 生徒の適性を生かし、社会での役割や自己の在り方を考えて進路選択・決定できるよう組織的な進路指導の充実を図る。 	
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育の三本柱の一つである「部活動日本一」の達成を目標とするとともに、他校にはない「一流の(部)活動」を目指す。 生徒会活動やホームルーム活動および部活動の充実により、各場面におけるリーダーを養成するとともに、自発的に活動をすすめる態度の育成を目指す。 	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	探究型授業の導入による創造力・課題発見解決力・実践力・協働力・社会適応力の育成。	施策IV-20	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「探究の時間の内容は自分にとって有意義である」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校は、授業や家庭学習への指導・支援等をおとして、一人一人の能力に応じた指導を行っている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「探究の時間の内容は自分にとって有意義である」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生75.2%) ⇒ R7生77.0% ↑ 外部評価「学校は、授業や家庭学習への指導・支援等をおとして、一人一人の能力に応じた指導を行っている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生77.7%) ⇒ R7生78.9% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な探究の時間」や「課題研究」を通して、課題発見解決力などの向上に努めることができた。また、それら成果を総合型選抜入試の進路実現につなげることができた。また、企業やOBらの協力を得て、効果的なキャリア教育事業を実践することができた。 ▲課題などの家庭学習により、基礎学力の定着を図るが、主体的に学習に取り組む、高度な資格取得を目指すことや、地域や企業のイベントに積極的に参加し視野を広げるなどの活動ができていない。日々部活動に休みなく取り組む生徒に対して、自己研鑽に務める時間を確保する必要がある。 	B
	学習習慣を定着させる。主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。	施策IV-23	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、体験学習を重視し、職業観・勤労観を持つよう配慮している。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、体験学習を重視し、職業観・勤労観を持つよう配慮している。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生85.8%) ⇒ R7生87.8% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○探究型授業の導入に向け、外部講師の招聘、探究研修部や商業教育推進部との連携を図り、体験学習を通じた協働的な授業を実施。 	
	地域や企業との連携、体験学習を通じた協働的な学習の充実。商品開発、サービス企画などによる創造的な学習の充実。	施策II-14	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 各分野において専門家などを招聘し講話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生92.6%) ⇒ R7生92.6% → 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生93.8%) ⇒ R7生95.2% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故防止のために、毎月MSリーダーズや生徒会が中心となり、自転車ヘルメット着用推進を呼びかけたり、自転車点検を行っていた。 ○毎回の全校集会において、各自の安全行動確認や規範意識の向上、生活ルール遵守について説教を行いながら生徒の意識向上を行っていた。 ▲生徒の心に届く指導を行うため、ポスター掲示なども行い、視覚からも訴えていく必要がある。 	
	生命の安全と人格の尊重とマナーの向上	施策III-19	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生86.1%) ⇒ R7生84.2% ↓ 外部評価「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生85.1%) ⇒ R7生87.2% ↑ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○志望理由書・小論文の指導では、全職員による体制を整え、説明会や模試の振り返りを通じて生徒の自己分析力と表現力が向上し、進路意欲が高まった。 ○企業説明会やガイダンスにおいては、生徒から「有意義だった」という評価が多く寄せられ、職業観の育成に一定の成果が見られた。 ▲文章構成力や論理的思考力の育成を継続して強化する必要があり、個別指導や添削体制の充実が求められる。 ▲外部評価において目標を十分に達成できなかった点から、個別面談の質の向上や指導のタイミングの見直し改善課題である。 	
生徒指導	校則やビジネスマナーの研究および検証	施策II-13	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 各分野において専門家などを招聘し講話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生92.6%) ⇒ R7生92.6% → 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生93.8%) ⇒ R7生95.2% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野において専門家などを招聘し講話を行った。 	
進路指導	志望動機や小論文指導の指導体制の確立	施策II-8	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生86.1%) ⇒ R7生84.2% ↓ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○志望理由書・小論文の指導では、全職員による体制を整え、説明会や模試の振り返りを通じて生徒の自己分析力と表現力が向上し、進路意欲が高まった。 ○企業説明会やガイダンスにおいては、生徒から「有意義だった」という評価が多く寄せられ、職業観の育成に一定の成果が見られた。 ▲文章構成力や論理的思考力の育成を継続して強化する必要があり、個別指導や添削体制の充実が求められる。 ▲外部評価において目標を十分に達成できなかった点から、個別面談の質の向上や指導のタイミングの見直し改善課題である。 	
	進路の手引き、ホームルーム活動、教育プラットフォームを利用した情報提供と意識の高揚	施策II-9	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生85.1%) ⇒ R7生87.2% ↑ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○進路情報提供の場を設けた。 	
	進路ガイダンスや企業研究会などを通じた職業観の育成。	施策II-13	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 各分野において専門家などを招聘し講話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生92.6%) ⇒ R7生92.6% → 外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生93.8%) ⇒ R7生95.2% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野において専門家などを招聘し講話を行った。 	
特別活動	生徒自身が各大会等で上位を目指すとともに、仲間や活動環境に対する配慮を意識した活動を目指す	施策IV-25	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生82.5%) ⇒ R7生83.7% ↑ 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生79.7%) ⇒ R7生83.6% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○運動系、文化生産系共に部活動において、国際大会入賞、全国大会優勝、連覇など、高い競技成績を収めた。 ○高校野球応援を筆頭に、部活動の結果に学校全体が盛り上がり、活力をもらった。 ○新制服デザイン決定や、新様式での体育大会の実施など、生徒会執行部が中心となり、多くのプロジェクトを実行した。 ▲部活動における年間計画に基づいた計画的運営や、活動場所の清掃状況など、運営体制で見直すべき点がある。 	
	生徒会活動の活性化のため、執行部会の充実を図るとともに社会貢献活動の継続および企画をおとしてリーダーの養成、自主的・実践的態度の育成を目指す	施策I-4	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生82.5%) ⇒ R7生83.7% ↑ 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生79.7%) ⇒ R7生83.6% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○運動系、文化生産系共に部活動において、国際大会入賞、全国大会優勝、連覇など、高い競技成績を収めた。 ○高校野球応援を筆頭に、部活動の結果に学校全体が盛り上がり、活力をもらった。 ○新制服デザイン決定や、新様式での体育大会の実施など、生徒会執行部が中心となり、多くのプロジェクトを実行した。 ▲部活動における年間計画に基づいた計画的運営や、活動場所の清掃状況など、運営体制で見直すべき点がある。 	
	本校の部活動ガイドラインの遵守を目指して活動を続けるとともに、年間・月間計画の生徒、保護者への周知徹底を図る	施策IV-27	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生82.5%) ⇒ R7生83.7% ↑ 外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。(R6生79.7%) ⇒ R7生83.6% ↑ 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○運動系、文化生産系共に部活動において、国際大会入賞、全国大会優勝、連覇など、高い競技成績を収めた。 ○高校野球応援を筆頭に、部活動の結果に学校全体が盛り上がり、活力をもらった。 ○新制服デザイン決定や、新様式での体育大会の実施など、生徒会執行部が中心となり、多くのプロジェクトを実行した。 ▲部活動における年間計画に基づいた計画的運営や、活動場所の清掃状況など、運営体制で見直すべき点がある。 	

<p>来年度に向けての改善方策等</p> <p>1 生徒の主体性を育む学習およびビジネス探究活動の充実 生徒が自ら課題を見つけ、主体的に学びに向かう姿勢を育むことは、これからの社会を生き抜く力の基盤となる。そこで来年度は、年間行事の中に3日間の休校日を設け、生徒が自分の考えを深め、表現し、他者と共有できる場を創出する機会を拡充する。あわせて、主体的な取組を促す指導方法の工夫や、成功体験を積み重ねられる環境づくりにも取り組む。</p> <p>2 働き方改革の推進と「時間の余白」を生み出す取組の強化 教職員が教育の質向上に専念できる環境を整えるため、働き方改革を一層推進する。業務の見直しや日課の見直し、ICTの活用を通じて、教職員が心身のゆとりを持って業務に取り組めるよう「時間の余白」を確保する取組を進める。これにより、授業準備や生徒支援にかけられる時間を確保し、学校全体としての教育力向上を図る。</p> <p>3 転退学者の増加を踏まえた学習支援体制の強化 近年、転退学者数の高止まりが見られることから、生徒一人ひとりの学習状況や生活背景に応じた柔軟な支援が求められている。これを受け、オンライン授業の積極的な活用を進め、登校が難しい生徒に対しても継続的に学習機会を保障する。また、教育相談体制をさらに充実させ、学習面・生活面の不安を早期に把握し、適切な支援につなげることで、生徒の学校定着を促す。</p>	実施日：令和8年2月10日	<p>学校関係者評価</p> <p>今年度は全国レベルでの活躍が多く見られた。一方で、こうした成果の裏側で、教員・生徒双方に“多忙感”が広がり、それが学校全体の“閉塞感”につながっているのではないかと懸念されている。学校として伝統を大切にしながら“充実した活動”と、多忙化の進行をどのように両立させていくか、来年度に向けて取り組むべき重要な課題である。</p> <p>・主体性を育むためには、学習の“余白”を確保し、個々の生徒に合った最適な指導が必要である。また、その実現に向けては、学びの過程を可視化し、指導の方法や手立てを具体的な形として示していくことが課題である。さらに、学びの成果をどのように評価するかという指標を整えることや、指導のメソッドを体系的に整理していくことも今後の重要な取り組みである。</p> <p>・教員の負担軽減に向けては、専門性をもつアドミニストレーターを導入が必要である。また、働き方改革を進めるためには、個々の努力に依存するのではなく、学校組織全体の構造を見直すことが不可欠である。</p> <p>・来年度から実施予定の“LOBチャレンジャー(仮称)”の目的や実施方法については、ねらいを明確にし、生徒が主体的に参加できる仕組みづくりを進めていくことが重要である。</p>	実施日：令和8年2月10日
--	---------------	--	---------------